

AI ビジネス推進コンソーシアム 第2回総会

第2期 活動方針（案）

（自2019年2月26日～至2020年3月31日）

世界ではAIの活用や技術発展が進んでいる中、日本国内におけるAIビジネスの進展が遅れていると指摘されている。そこで、第1期は、AIを社会に役立て、ビジネスや研究活動を活性化・推進する「AIビジネス推進コンソーシアム」として、国内の各企業がAI技術を積極的に利用し世界レベルでビジネスを展開していくために、参加企業がAI関連の知見や事例を共有してデジタルトランスフォーメーションを推進する3つのワーキンググループ（WG）「教育・育成WG」「AI DevOps 環境検討WG」「AI×知財WG」の活動を中心に行った。

第2期は、継続する上記3つWGと新たに設置するWGを中心に、会員企業間での新たなビジネスの価値創出をより加速させ、AIビジネスの拡張を更に目指す。

1. 活動計画

理事会を四半期に1回、及び、各WGを約2ヶ月に1回程度実施する。また定時社員総会を年1回程度実施し、各WGの活動報告とコンソーシアム全体の運営に関する議論などを行う。年に数回程度、外部参加者も交えたビジネスマッチングイベントを開催し、各WGやコンソーシアムの成果の報告を行う。

①理事会

本コンソーシアムの理事会は以下から構成される。適宜追加されうる。

- ・ 会長：曾我部 完（株式会社グリッド 代表取締役）
- ・ 副会長：中条 薫 氏（富士通株式会社 エグゼクティブディレクター）
- ・ 副会長：小竹 裕之 氏（TIS株式会社 常務執行役員 AIサービス事業部長）
- ・ 副会長：寺澤 豊 氏（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 エグゼクティブエンジニア）
- ・ 監事：福島 歩 氏（TIS株式会社 AIサービス事業部 AIサービス企画開発部 主査）

②各ワーキンググループ

会員は、各WGへの参加を希望する場合、WG登録申込書を事務局へ提出し、グループ長が任免する。

現在予定しているWGは以下の通り。必要に応じて新たなWGを追加することもあり得る。

<1期より継続するWG>

- ・ 教育・育成WG（WG長：TIS株式会社 川口 恭弘氏）

AIの活用や開発のために必要な人材の採用、育成に課題が出ている。本WGでは、参加各社の知見を持ち寄り、人材の役割定義とその役割を担うために必要なスキルのチェックリストを作成している。今期では、チェックリストのブラッシュアップおよび実際にチェックリストの配布、実施によるデータ取得から分析のパイロット運用を実施する。また、次のテーマとして、AI導入プロジェクトのプロジェクト推進方法論の整備の検討を行う。

- ・ AI DevOps 環境検討 WG (WG 長：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 藤澤 好民氏)

AI の本格利用が加速してきた中で AI を運用するための仕組みに課題が出てきている。本 WG では、参加各社の知見を持ち寄り、企業が AI を開発・運用するためのライフサイクルマネジメントに必要な要素を明確化し、システム検討・選定できるようグランドデザイン、及び、機能要件を作成し指標となるシステム基盤の情報提供を行う。今期では、グランドデザイン公開、特に、PoC 以降の本格運用では必要となる作成した AI モデル、使用したデータのバージョン・紐付けを管理する仕組みや、学習済み AI を組み込んだアプリを運用する際のデプロイ方法等の機能要件検討を引き続き行う。また、AI の有効性を継続的に評価・モニタリングする手法や、継続的な AI 学習を管理する仕組みについて調査・検討、実証実験を行う。

- ・ AI×知財 WG (WG 長：株式会社グリッド 曾我部 完氏)

AI 開発契約において、権利・知財についてユーザ・ベンダの意見が対立するケースや、営業担当や法務担当が AI 開発契約への深い理解が困難といった課題がある。本 WG は、経産省「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」の補足資料として、AI 開発において発生する知的財産権を整理し、AI 開発の実態に即した企業間の権利関係を保護するための、各種契約の「モデル契約書」「モデル契約書別紙 (対象物の一覧と著作権・特許権・営業秘密の権利帰属を整理した別紙)」「契約ガイドライン (契約時に確認すべき事項や、権利を整理し分かりやすくまとめた契約ガイドライン)」を作成している。今期は、これらを成果物として、5 月頃にリリースする。

<2 期新設>

- ・ AI×倫理 WG (WG 長：株式会社グリッド 曾我部 完氏) ※2019 年 5 月・6 月頃の予定

■名称

AI×倫理 WG

■設置目的

AI に関する倫理とその技術の適用に対して、AIBPC でガイドラインを示す WG。

■活動概要

ビジネス上での AI 開発において発生し得る倫理課題に対して、各企業が何に取り組むべきかを整理し、ガバナンスする為の仕組みを構築するためのガイドラインを示す。

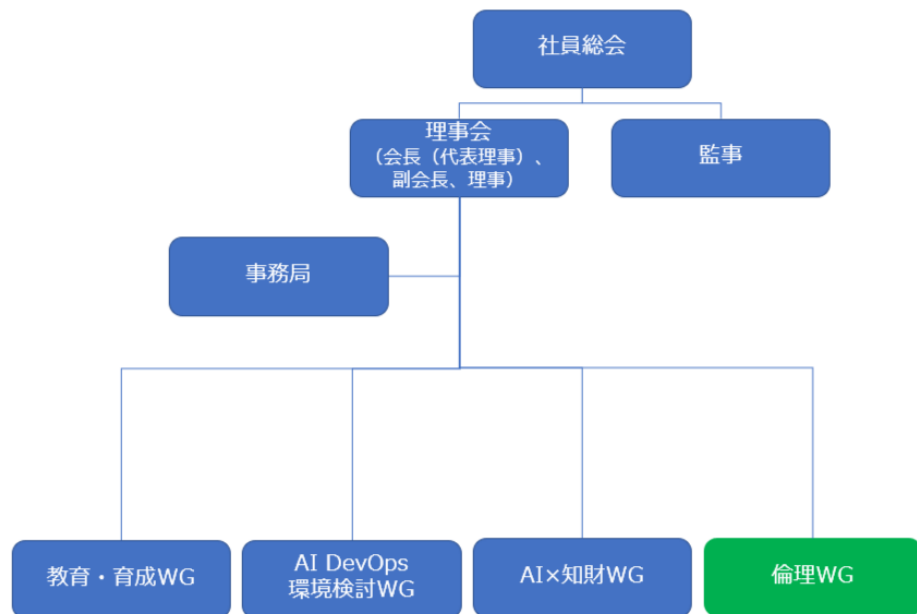
■ゴール

より豊かな社会を実現す AI の進展に貢献するために、AI 倫理課題に取り組むステップと AI をどう開発するべきかといった原則や、ガバナンス・コンプライアンスのルール策定を目指す。

③広報 外部向けイベント

年に数回 (2 回程度)、ビジネスの相互協力やビジネス協業のためのイベントを企画・開催するとともに、外部主催のイベントへの協賛・後援やウェブサイトでの発信を通して、AI のビジネスでの利用促進を加速させる広報活動を行う。

2. 組織体制



* AI×倫理 WG は、2019 年 5 月・6 月頃に設置予定。

4. 年間スケジュール

<理事会の開催予定>

- ・ 第 1 回理事会 5 月
- ・ 第 2 回理事会 9 月
- ・ 第 3 回理事会 12 月
- ・ 第 4 回理事会 3 月 (総会を同時開催予定)

<外部向けイベントの開催予定>

- ・ AIBPC Meetup summer 2019 7 月
- ・ AIBPC Meetup winter 2020 2 月

* 詳細は別途本コンソーシアムのウェブサイト「ニュース」情報に掲載